

一般校からの就労相談にTTAP・BWAP2を活用したケース

～アセスメントを通じての、家庭・関係機関との連携～

○ 酒井 健一（社会福祉法人 釧路のぞみ協会 自立センター職業準備・職場定着支援係長）

くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん スタッフ一同

1.はじめに

自立センターのご紹介



- ・くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん
- ・相談支援事業 自立センター
- ・グループホーム プルミエ
- ・くしろジョブトレーニングセンターあらんじえ (移行支援)
- ・くしろジョブコミュニケーションセンター れぽぜ (就労継続B型)
- ・くしろジョブサポートセンター ぱさーじゅ(就労定着)

他は同法人で市内にて入所施設、B型事業所を運営

地域の現状

1

道東圏域(2市10町1村)に就労移行支援事業が不足している(圏域で5か所 その中で釧路市に3か所となっており、ほとんどの市町村に設置されていない)

2

この地域に限らないが、圏域の人口減が顕著に見られている 人出不足があるため全体的に求人は増加しているが、業種に偏りがみられ、障害者雇用についてマッチングが難しいケースが多い

3

障害者職業センターが札幌である事含め機関が都市部に集中しており、当事者が受けたサービスや支援がタイムリーに受けられない

地域の中でアセスメントの実施を含めた多くの役割が求められる

2.本人の概要



対象者：Tさん 男性 17歳

高校2年生時に担任より自センターに連絡 本人と母親が来所する事となった

【インテーク】

- ・ 幼少期から発達の遅れ見られ5歳の時に広範性発達障害の診断
WISC 全検査IQ83
(言語理解74 知覚推理95 ワーキングメモリー91 処理速度88)
- ・ 家族が本人が伸び伸び通学出来るよう遠方の少人数の小学校に通学するようにしたため、大きな困りごとなく小中学校時代を過ごされた
- ・ そのまま管内の公立高校に進学されるが、人数が今までより多い事含め環境の大きな変化があり、周囲とのコミュニケーションが上手いかない等が顕著にみられるようになった

3.課題の整理

インタビューを行って

- 母親**
- ・ 自ら意思を伝えることが苦手
 - ・ 家庭での日常生活において多くの事で母親が援助をしている

- 本人**
- ・ 質問等についての返答は「はい」「いいえ」で答えられる質問以外は、ほとんど答えられず
 - ・ 返答に困った時には母親の顔を見て助けを求め母親が返答

聞き取りの中から、担任からの聞き取りと本人・母親からの聞き取りで出来ている事についての差異が見られている

TTAP BWAP2を実施しスキルの整理を行う事とした

4.BWAP2の実施

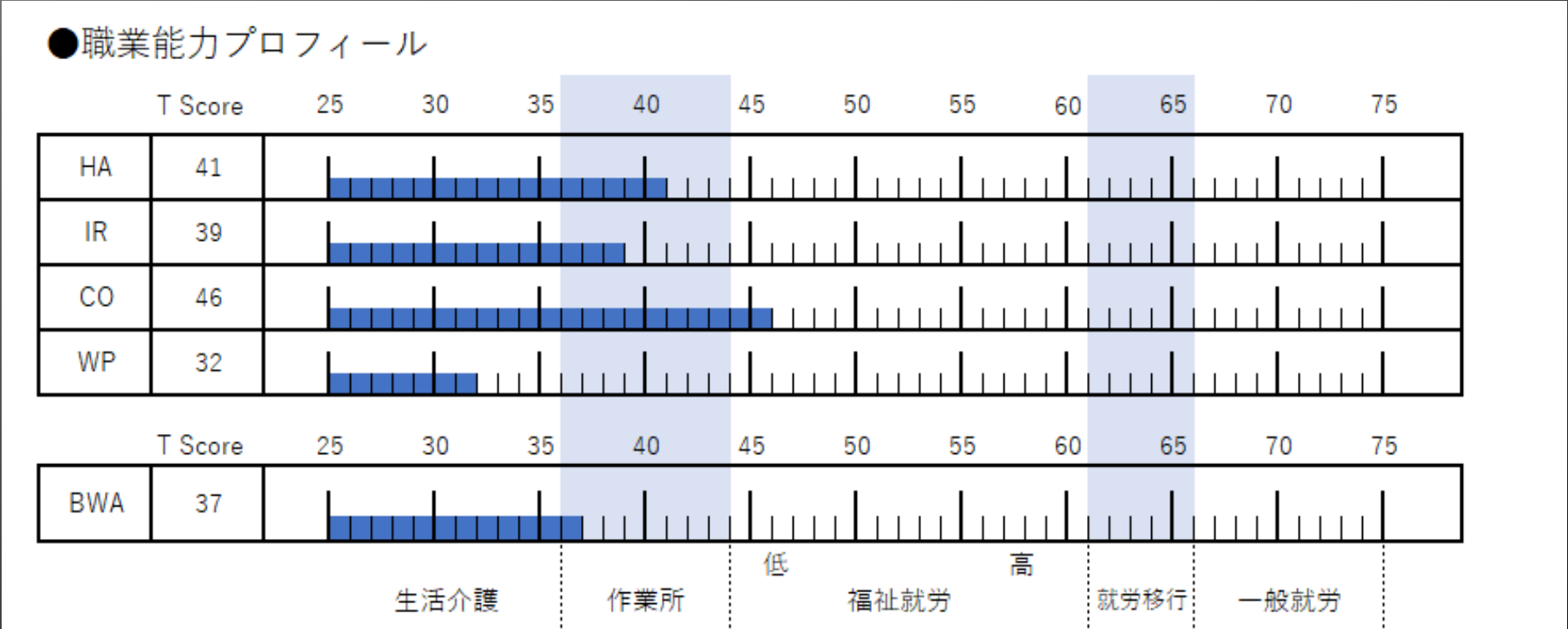
「仕事の習慣・態度」「対人関係」「認知スキル」「職務遂行能力」
の4領域のスキルアセスメントを実施

1.知的障害					
●検査結果					
	粗点	Tスコア	パーセンタイル値	ワーク プレースメント	ワークサポート
仕事の習慣/態度 HA	18	41	18	福祉就労（低）	E
対人関係 IR	16	39	14	福祉就労（低）	E
認知能力 CO	24	46	34	福祉就労（中）	E
仕事の遂行力 WP	11	32	4	生活介護	E
総合的職場適応能力 BWA	69	37	10	作業所	E

WP(作業遂行)項目の抜粋

1

4.BWAP2の実施



全体では福祉就労(低)レベルとしての結果が見られ、特にWP(作業遂行)の項目については低位となっている

就労に向けての課題がはっきり分かる結果となった

5.TTAPの実施

直接観察尺度

	No.	内 容	評価	注記		No.	内 容	評価	注記
職業スキル	1	分類作業	P	◎	余暇スキル	37	一人で休憩時間を過ごす	P	
	2	分類の間違いの修正	P	◎		38	休憩が終わったら片づける	P	
	3	治具を用いた部品の収納	E	◎		39	ダーツで遊ぶ	P	
	4	色のマッチングと分類	P	◎		40	ダーツの得点を記録する	P	
	5	カードの分類と束ね合わせ	P	◎		41	簡単なカードゲーム	P	
	6	一対一対応を用いた三段階作業	P	◎		42	バスケットゲームをする	P	
	7	旅行キットのパッケージング	P	◎		43	カウンターを使って休憩時間の終了を知る	P	
	8	カードのあいいうえお順配列	P			44	雑誌やカタログを読む	P	
	9	定規を使った計測	P	◎		45	高度なカードゲーム	P	
	10	番号による索引カード収納	P	◎		46	余暇活動の要求とWSへの反応	E	◎
	11	カップとスプーンによる計量	P	◎		47	地域の余暇活動への計画	P	
	12	名前を入力PC	P	◎		48	地域の余暇活動への計画の予算立て	P	
職業行動	13	組立ライン方法の使用	P		機能的コミュニケーション	49	言語指示やジェスチャーの理解	P	◎
	14	☆作業の継続	P	◎		50	現在の状態に関する質問に答える	P	
	15	☆音による課題の継続	P	◎		51	時間差のある指示に従う	P	
	16	監督者なしの作業継続	P	◎		52	絵による指示に従う	P	
	17	生産性	E	◎		53	緊急情報の伝達	P	
	18	体系的作業と作業の丁寧さ	P	◎		54	ニーズを伝える	P	
	19	環境に対する反応	P			55	好ましい感情の表出	E	◎
	20	次の活動への移行	P			56	禁止の理解	P	◎
	21	必要に応じて援助を求める	E	◎		57	自発的コミュニケーション	P	
	22	修正に対する反応	P			58	文字による指示に従う	P	◎
	23	中断された時の許容度	P			59	簡単な買い物をする	E	◎
	24	作業中のスタミナの維持	E	◎		60	電話でのメモの記録	P	
自立機能	25	時間を告げる	P		対人行動	61	名前を呼ばれたら反応する	P	
	26	お金の理解	P			62	自ら適切な挨拶をする	P	
	27	お金の計算	P			63	検査者の存在に反応する	P	
	28	生活に必要な標識の理解	P			64	適切な笑顔を示す	P	◎
	29	手を洗う	P			65	自己調整ができる	P	
	30	自動販売機の利用	P			66	好ましい対人行動をとる	P	◎
	31	適切な飲食習慣	P	◎		67	好ましくない対人行動をとらない	P	
	32	お金の使用	P	◎		68	検査者と一緒に移動する	P	
	33	メッセージの伝達	P			69	身体的接触に対して適切に反応	E	◎
	34	カレンダーの使用	P	◎		70	他者と協力して適切に遊ぶ	E	◎
	35	伝票計算	P			71	会話への集中	E	◎
	36	スケジュールに従う	P	◎		72	視覚的ルールに従う	P	◎

【ハードスキル】
合格のPが多く見られている

【ソフトスキル】
周囲の状況を見て行動する等、芽生えのEが見られている項目があった

全体的に直接観察尺度では合格Pの評価が多く見られた

5.TTAPの実施

直接観察尺度

ハードスキルの特記PICKUP 14作業の継続

用具：ゼムクリップでとめたA4用紙の束30セット、大きな留め金のついた角形2号の30枚

手順：クライアントの前で1セットの用紙を封筒に入れる作業を実演する。そのあとクライアントに作業を遂行させるが、必要に応じて実演や援助を行う。検査者は合計3回まで実演する事ができる。クライアントが援助なしで3セット継続して封入できれば、あとは一人で行うようクライアントに示す。時間を測り始め、クライアントが10秒以上作業を止めた時だけ、援助として指差しで作業に集中するよう促す。

採点：合格～10秒以上手を止める事無く、5分間継続して作業ができる。
芽生え～10秒以上手を止めるのが1～2回だけで5分間継続して作業ができる。
不合格～10秒手を止める事が3回以上あるか、まったく作業を遂行することができない。

特記：ほぼ手を休める事無く作業され、10秒以上手を休めることなく出来ている

5.TTAPの実施

直接観察尺度

ソフトスキルの特記PICKUP

5 5 肯定的な感情の表出

用具：なし

手順：検査中クライアントが比較的満足しているように思える時に観察を行う。

採点：合格～多くの人にとって一般的に楽しい状況の中で比較的適切な形で肯定的な感情を示す。

芽生え～時折肯定的な感情を示すか、不適切にまたは一般に他の人が楽しいと思わない状況で肯定的な感情を示す。

不合格～他の人にははっきりとわかるような形で適切な感情表出をすることがない。

特記：表情が硬く感情が外に出にくい、言葉では感情の表出が見られる事もあった

5.TTAPの実施

家庭尺度

職業スキル	73	作業場、倉庫、机上での簡単な工員の使用	P		余暇スキル	109	自由時間を適切に過ごす	P	
	74	日常的に使うものの分類	E	⓪		110	1人で遊ぶ	P	
	75	掃除をする、または電気掃除機を使う	P			111	他の人と協力して遊ぶ	P	
	76	掃除用具の使用	P			112	卓上ゲームをする	P	
	77	衣服を洗濯し乾かす	E	⓪		113	ラジオを聞き、テレビを見る	P	
	78	食器を洗って乾燥させる	E	⓪		114	現在継続中の状況の標準に携わる	P	
	79	台所用品の使用	P			115	現在継続中の給を置く事や工作の活動に携わる	P	
	80	タオルたたみ	P			116	現在継続中の際外での活動に携わる	E	⓪
	81	ベッドメイキング	P			117	公共の娯楽行事に関心を示す	P	
	82	洗濯機に物を入れ、洗濯を取り出す	E	⓪		118	ペットの世話をする	E	⓪
職業行動	83	テーブルセット	P		機能的コミュニケーション	119	1人でフリースタイルのレスポランで食事をする	P	
	84	食事または料理の残片付け	E	⓪		120	余暇活動の片づけ	P	
	85	1人で働く	E	⓪		121	基本的な要求を伝える	P	
	86	必要な時、援助を求める	E	⓪		122	現在の状況についての質問に答える	P	
	87	保護者の存在を認め、指示を受け入れる	P			123	概念を理解する	P	
	88	財産、ルール、法規を尊重する	P			124	概念を用いる	P	
	89	新しい課題を行う	E	⓪		125	表示や標識を読む	P	
	90	時間差のある指示に従う	E	⓪		126	電話をかける	F	
	91	中所に耐える	P			127	社会的な活動に対してコミュニケーションをとる	E	⓪
	92	ルーチン(決まった手順)の変化への対応	P			128	自発的に会話する	E	⓪
自立機能	93	自分の健康や持ち物の維持管理	P		対人行動	129	活動をやめるように言われるとやめる	P	
	94	移動を伴った課題を行なう	P			130	欲しいものを推さず、手を離し出す	P	
	95	他者の近くで働く	P			131	身振りが言葉で拒否する	P	
	96	手洗いや歯磨きや入浴は適切なタイミングで実施する	E	⓪		132	好きな活動や好きな人、物、場所の選択をする	P	
	97	身だしなみ	E	⓪		133	楽しい人たちに好ましい行動をとる	E	⓪
	98	入浴と歯磨き	E	⓪		134	初めての人に対して好ましい行動をとる	E	⓪
	99	トイレの使用	E	⓪		135	好ましくない行動をとる(攻撃、所有物の破壊)	P	
	100	洗濯(衣類)の処理、または洗濯機(男性)	E	⓪		136	好ましくない行動をとる(攻撃、所有物の破壊)	P	
	101	料理をする	P			137	社会的な集まりに参加する	F	
	102	1人で買い物をする	E	⓪		138	他の人の存在を認識して反応する	P	
	103	1人で交通機関を利用する	E	⓪		139	公共の場で、他の人に対して適切に行動する	P	
	104	良い食習慣を示す	E	⓪		140	特定の人との交友関係を求める	E	⓪
	105	安全基準に従う	P			141	1人で活動をしている時、他の人の邪魔をしない	P	
	106	処方された薬を自分で服用する	E	⓪		142	故障ではない過失を謝る	P	
	107	一歩旅行の荷物や学校の荷物をまとめる	E	⓪		143	病状を管理し不審を軽減的に発見する	P	
	108	トイレのドアを閉める	P			144	他の人と食べ物や持ち物を共有する	P	

【ハードスキル】 【ソフトスキル】
共に芽生えのEが多く見られている

直接観察尺度で合格Pとなった項目にもE芽生えがみられた

日常生活において母親の介入が高い事が考えられ、対象者が自ら行動する機会が少ない環境である事が分かる

5.TTAPの実施

家庭尺度

ハードスキルの特記PICKUP 77衣服を洗濯し乾かす

合 格	監督指導なしに、または1回やって見せれば、洗濯機や乾燥機を適切にしようすることができる。
芽生え	適切に洗濯機や乾燥機を使用するために、時々援助が必要、または何度も繰り返してやっと思せる必要がある。
不合格	常に教えなければ、洗濯機や乾燥機を使用することができない。

特記：干すことは時折行っているが、洗濯機を使用することは1度教えたきりで、その後行っていない。

5.TTAPの実施

家庭尺度

ソフトスキルの特記PICKUP

128自発的に会話をする

合 格	普通に会話をする。会話の筋が通っていて意味があり，エコラリア（意味もなく繰り返す反響言語）や機械的なフレーズ，または訳の分からない言葉はほとんどないか全然ない。会話は直接関係する基本的な要求や日々の活動の説明の範囲を越えて進めることができる。たとえば，個人的な質問をしたり答えたりする。日々の出来事や，ルーチンの変更について説明する，活動について話す。
芽生え	会話の中に，エコラリア，機械的なフレーズまたは訳の分からない言葉が多少混じる。または，会話は基本的な要求や日常の活動の説明に限定されている。
不合格	機械的で，エコラリア的または訳のわからない言葉以外には，会話に加われない。

特記：学校の事など自分からも話さないし、母が聞いても話さない。忘れていることもある。

5.TTAPの実施

学校尺度

職業スキル	145	物の分類	P	⓪	余暇スキル	181	適切に自由時間を通ず	P	
	146	組立の手順に従う	E	⓪		182	協力して遊びに従事する	E	⓪
	147	シンボルを含ませてファイルに入れる	P	⓪		183	昼食や休憩の時間の活動に従事する	P	
	148	単純な機械や道具を使う	E	⓪		184	集団行事に参加する	E	⓪
	149	大きさを見分ける	P			185	スポーツをする	E	⓪
	150	測る・量る	P			186	自動販売機を使う	P	
	151	物を収納する	P	⓪		187	新しい余暇活動を学ぶ	E	⓪
	152	作業場を清潔にする	P			188	1人で室内活動を行う	P	
	153	食材などを適切な量を補充する	P	⓪		189	植物の世話をする	P	
	154	棚から物を取り出すのにリストを使う	P	⓪		190	ゲーム、ボードゲーム、カードゲームなど遊ぶ	P	⓪
職業行動	155	機械、タイマーに当たってスイッチなどの装置を操作する	P		機能的コミュニケーション	191	ゲームの図や文書の指示に従う	F	⓪
	156	物を持ちあげて動かす	E	⓪		192	定期的な運動	E	⓪
	157	堅実に働く	P			193	基本的な身体上のニーズを伝える	P	
	158	一定の割合で働く	P	⓪		194	活動中にニーズを伝える	E	⓪
	159	正確に課題を完成させる	E	⓪		195	簡単な指示に応じる	P	
	160	作業中に関心事を自制する	E	⓪		196	禁止に応じる	P	⓪
	161	器物、規則、規範などを尊重する	P			197	個数を数える	P	
	162	他人の近くで働く	P			198	名前を書く	P	
	163	監督者を認識する	P			199	形、色、文字、数字の名前を理解する	P	⓪
	164	作業効率をあげるために道具を整理する	E	⓪		200	判断を要する指示に従う	P	⓪
自立機能	165	作業環境の改善に自らして周囲の者に知らせる	E	⓪	対人行動	201	身近な身振りに応じる	P	
	166	次の活動や作業に移る際に適切に振舞う	P			202	終わりに言われたら活動を止める	P	
	167	指示に従い適切に間違いを修正する	P	⓪		203	答められる時に活動が続ける	E	⓪
	168	ルーチンの変化に適応する	P	⓪		204	緊急時の指示に応じる	E	⓪
	169	自分から進んで食べる	P			205	他人がいることを意識する	E	⓪
	170	食事のマナー	P			206	慣れた人々に好ましい行動を示す	E	⓪
	171	伝言するために自分で移動する	P			207	知らない人に好ましい行動を示す	P	
	172	日課スケジュールに従う	P			208	好まない行動を拒否する---攻撃性や怒りの表現	P	
	173	安全の基準に従う	P			209	好まない行動を拒否する---攻撃性や怒りの表現	P	
	174	公共の場で適切に行動する	P	⓪		210	作業中に自制心を持つ	P	

【ハードスキル】 【ソフトスキル】
家庭尺度と同様に、芽生えのEが多く見られている

他者とのコミュニケーションが必要な事等についてE芽生えが多く見られた

集団生活において、他人に依存する傾向がある事が結果にみられる

5.TTAPの実施

学校尺度

ハードスキルの特記PICKUP 146組立の手順に従う

合 格	監督者からの援助なしに、視覚的マニュアル(絵や写真など)を使って少なくとも3つの部品の組立(ブロックの組立の手順、ナット/ボルト/ワッシャーの組立など)を完成させる。
芽生え	手順が提示されても一度は間違える、あるいは手順の視覚的マニュアルに注意を向けるために援助を要する。
不合格	新しい手順に従うために常に援助を要する。あるいは視覚的マニュアルを使って部品を組立てることができない。

特記：マニュアルに注意を向けるための援助が必要になる(声掛けを待っている様子もある)

5.TTAPの実施

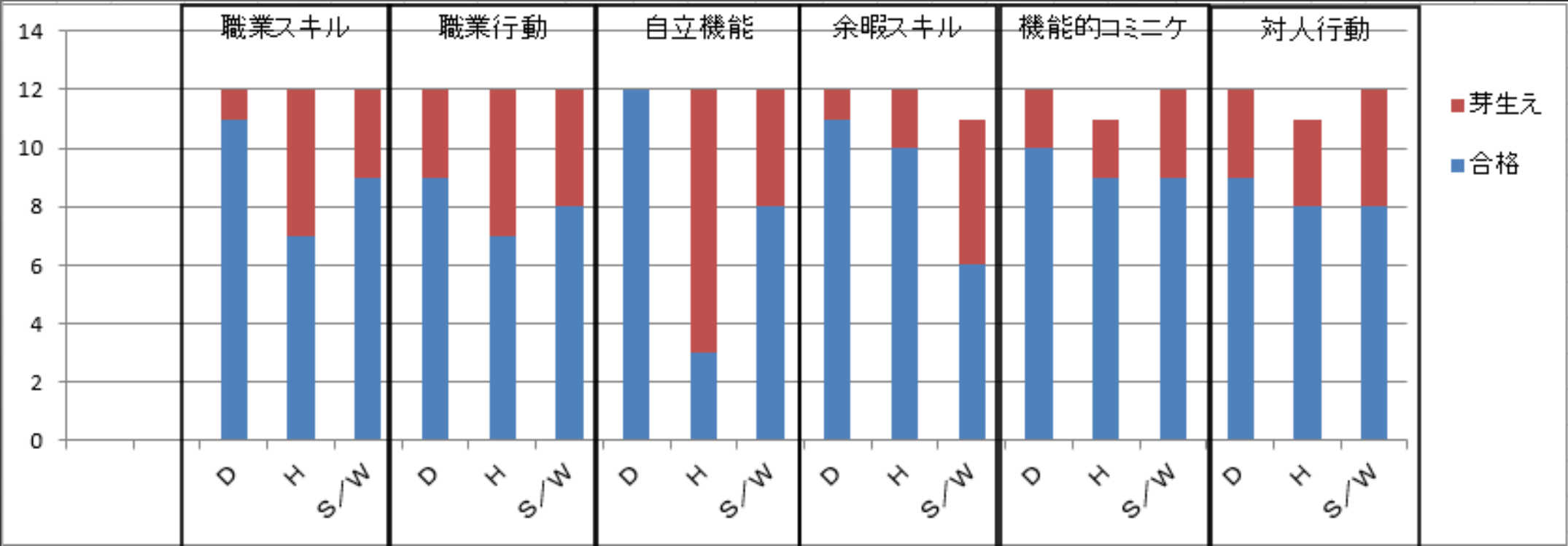
学校尺度 ソフトスキルの特記PICKUP 211グループ活動に参加する

合 格	適切にグループ活動に参加する(たとえば、順番の交代、ルールに従う、道具を共有する、グループの規範や決定に従う、適切に意見を述べる)。
芽生え	ほとんどの部分で適切にグループ活動に参加するが、時々(5回のうち2,3回)受身になったり引きこもったりする。あるいは、参加を拒否したりする。時々(5回のうち2,3回)妨害的あるいは非協力に行動する(たとえば、グループの決定に従わない、共有や順番交代を拒否する。)
不合格	めったに、あるいは、まったくグループ活動に適切に参加しない。

特記：参加はするが受け身になる事がほとんど

5.TTAPの実施

TTAPのスキルプロフィール



3尺度6領域のアセスメントから対象者が獲得しているスキルは多いが、環境の違いで活動状況に差異がある事が分かった

6. アセスメントの結果から

BWAP2・TTAPの結果から基本的なスキルとして身についている事でも、家庭や学校の環境から行動に汎化出来ていない事がEの芽生えの検査結果となっている



TTAPの分析フォームではBWAP2の4領域のアセスメント項目も反映して指導目標を設定

6. アセスメントの結果から

分析フォームからの指導目標

職業行動 : 業務を行う際には具体的な数量を設定し自ら確認する
構造化することで整理・物の管理を行う

自立機能 : 自身でスケジュールや手順書を確認して行動する
身だしなみを整える

余暇スキル : オンとオフの切り替えが出来る

機能的コミュニケーション : 日誌等を用いて自らの行動を振り返りニーズを相手に伝える

対人スキル : 最低限の場面に沿った行動や振る舞いが出来る

これらの事を目標として、アセスメントから計画を立案

7.家庭・学校・医療との共有

アセスメント結果の共有

今回のアセスメントから確認出来た本人の**ストレングス、課題**について対象者・学校・家庭と面談を実施し共有

また対象者はコンサータを処方され定期的な受診を継続している事があるため、通院同行を行いアセスメント結果について医療とも共有

①職業準備性を高める必要がある ②継続したスキル向上が期待出来る

これらについて学校でも継続して取り組んでいく事を共有し、卒業後は就労移行支援の利用をして継続していく事を対象者・家族共に希望

8.就労移行支援の活用

就労移行支援の利用直後

アセスメント実施後から就労移行支援の利用までのスキル向上の取り組みについての確認を行うため、再度BWAP2を実施



スキル向上が確認され、家庭・学校での取り組みがしっかり結果として現れた

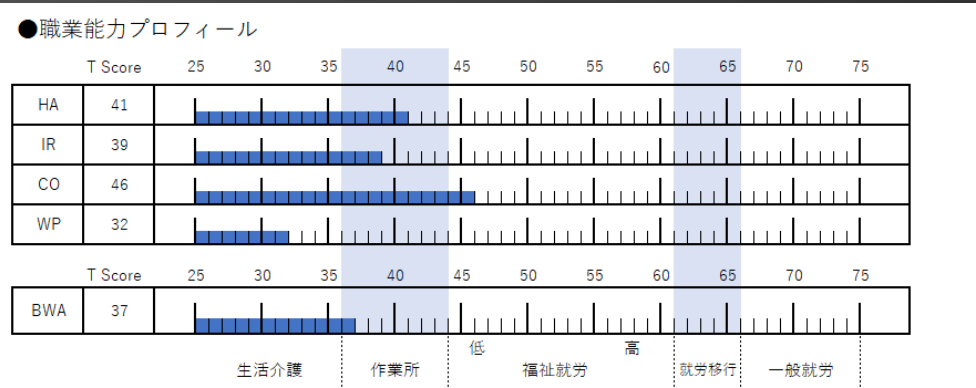
8.就労移行支援の活用

BWAP2の結果の比較 高校在学时

1.知的障害

●検査結果

	粗点	Tスコア	パーセンタイル値	ワーク プレースメント	ワークサポート
仕事の習慣/態度 HA	18	41	18	福祉就労（低）	E
対人関係 IR	16	39	14	福祉就労（低）	E
認知能力 CO	24	46	34	福祉就労（中）	E
仕事の遂行力 WP	11	32	4	生活介護	E
総合的職場適応能力 BWA	69	37	10	作業所	E

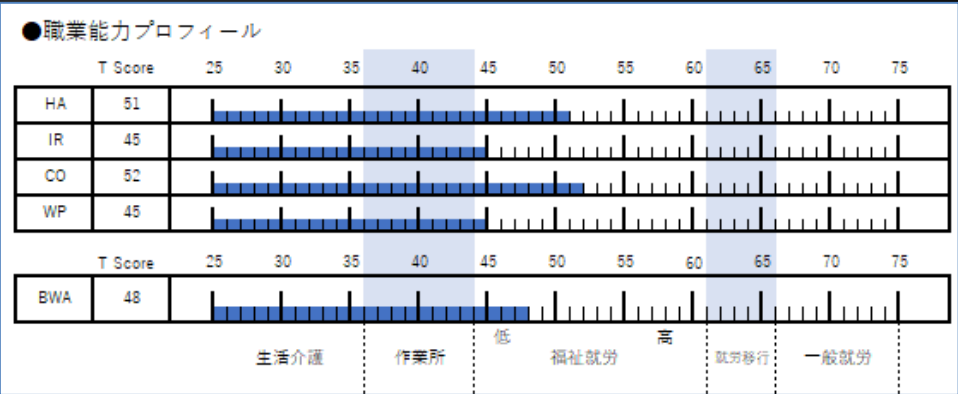


就労移行支援利用時

1.知的障害

●検査結果（情緒障害で換算）

	粗点	Tスコア	パーセンタイル値	ワーク プレースメント	ワークサポート
仕事の習慣/態度 HA	27	51	54	福祉就労（中）	B
対人関係 IR	22	45	31	福祉就労（中）	E
認知能力 CO	38	52	58	福祉就労（中）	B
仕事の遂行力 WP	35	45	31	福祉就労（中）	E
総合的職場適応能力 BWA	122	48	42	福祉就労（中）	C



8.就労移行支援の活用

BWAP2の結果の比較

全領域で向上がみられており、BWA(総合職場適応能力)は作業所から福祉就労まで向上が見られた



今後の就労移行支援事業所での活動に期待が出来る結果となった

9.まとめ

アセスメントを実施して

- ・ BWAP2は行動観察を中心としたアセスメントである事から、高い専門性を必要とせず実施が可能 また結果についてもグラフで分かりやすいため対象者においても理解が進みやすい
- ・ TTAPについては詳細にスキルの整理が可能で、E芽生えからP合格までの導きを検討する事により具体的な就労への道筋が見いだせる また家庭と関係機関との共有も図りやすい

今回のような通常教育を受けている方たちの相談は増加傾向にあり今後も継続していくと考えられる 今後も必要なアセスメントを組み合わせながら対象者の自己理解が進む支援につなげていきたい

ご清聴ありがとうございました